

大分県の女性社長比率は 10.0%、過去最高を更新

業種別は「不動産」、年齢別は「65～69 歳」がトップ

大分県・「女性社長」分析調査(2025 年)



本件照会先

吉元 栄治（調査担当）
帝国データバンク
大分支店
097-536-6363
info.ohita.q8b@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/12/12

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025 年 10 月時点で、大分県企業の女性社長割合は過去最高の 10.0%と 1 割に達した。業種別では「不動産」が 20.4%でトップ。年齢別では「65～69 歳」がトップ。都道府県別では「徳島県」が 12.3%で最も高く、「大分県」は10位。引き続き女性社長割合は緩やかに上昇すると見込まれるが、今後も女性起業家の育成・支援が求められる。

帝国データバンクは自社データベースをもとに、全国約 120 万社の事業会社を対象に女性が社長（代表）を務める企業について分析を行った。

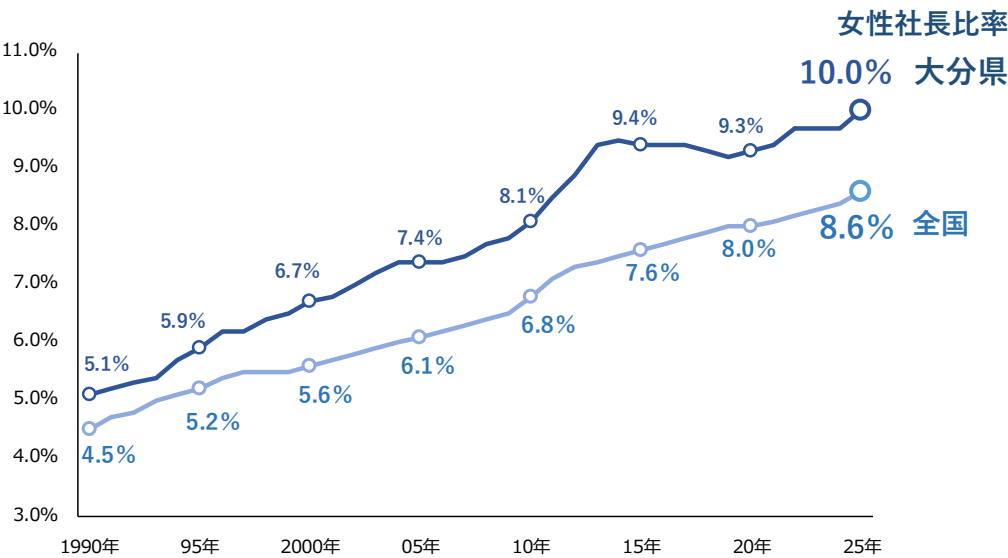
同調査の公表は 2024 年 10 月に続き今回で 12 回目だが、統計としては遡れる 1990 年から分析対象に含めている。

集計対象は「株式会社」「有限会社」「合同会社」「合名会社」「合資会社」。

大分県企業の女性社長比率は 10.0%、過去最高を更新

帝国データバンク大分支店では、大分県企業の女性社長比率について調査を実施した。2025 年 10 月時点で 10.0%となり、前年を 0.3pt 上回って過去最高を更新した。統計として遡れる 1990 年(5.1%)からは 4.9pt上昇し、初めて 2 ケタ台に達した。

女性社長比率(1990-2025 年)



「不動産」が 20.4%でトップ

業種別に女性社長の比率をみると、「不動産」が 20.4%でトップだった。続く「サービス」(14.5%)や「小売」(11.9%)、「金融・保険」(10.7%)といった「BtoC」業種で女性社長比率が高かった。

その他の 6 業種は全体(10.0%)を下回った。なかでも「鉱業」は前年から 4.8pt減少し 0.0%となった。次いで「建設」が 5.9%で 2 番目に低かった。

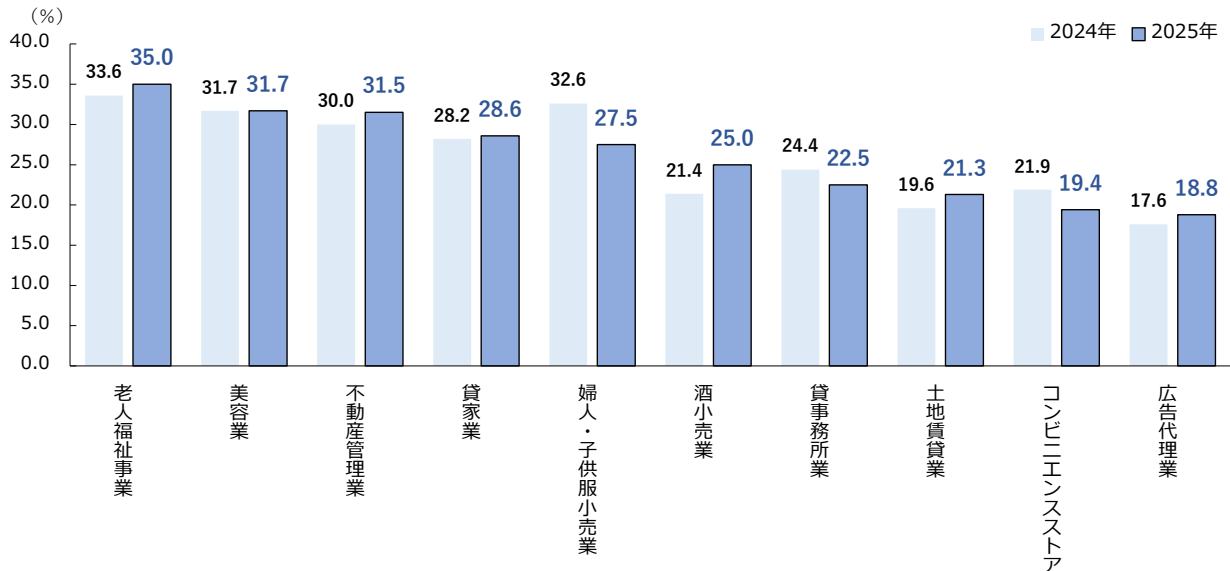
女性社長比率 業種大分類別

業種別	(%)						(pt)		
	1990年 (35年前)	2000年 (25年前)	2010年 (15年前)	2015年 (10年前)	2020年 (5年前)	2024年 (前年)	2025年 現在	対35年前 増減	対前年 増減
建設	3.8	4.7	5.7	6.1	6.1	6.1	5.9	+2.1	▲ 0.2
製造	3.8	4.6	5.8	5.6	5.8	6.3	6.9	+3.1	+0.6
卸売	2.6	5.3	6.7	7.0	7.0	7.5	7.8	+5.2	+0.3
小売	7.0	10.0	10.4	12.7	11.5	11.8	11.9	+4.9	+0.1
運輸・通信	4.4	5.3	5.6	5.8	5.3	7.1	7.6	+3.2	+0.5
サービス	7.2	8.0	9.7	12.6	12.9	13.7	14.5	+7.3	+0.8
不動産	14.0	17.8	20.0	20.8	20.1	20.8	20.4	+6.4	▲ 0.4
農林水産	5.8	4.7	5.0	7.1	7.9	5.8	6.8	+1.0	+1.0
鉱業	8.7	7.4	4.3	8.7	9.1	4.8	0.0	▲ 8.7	▲ 4.8
金融・保険	3.6	12.3	6.1	8.7	11.4	11.5	10.7	+7.1	▲ 0.8

業種細分類別でみると、「老人福祉事業」が35.0%で前年から1.4pt上昇し、最も高かった。次いで「美容業」(31.7%)、「不動産管理業」(31.5%)、「貸家業」(28.6%)といった不動産関連が続いた。

一方、業種細分類別で低い業種をみると、「鉄骨工事業」(1.3%)を筆頭に、10業種中5業種が建設業、4業種が小売業、1業種が製造業だった。

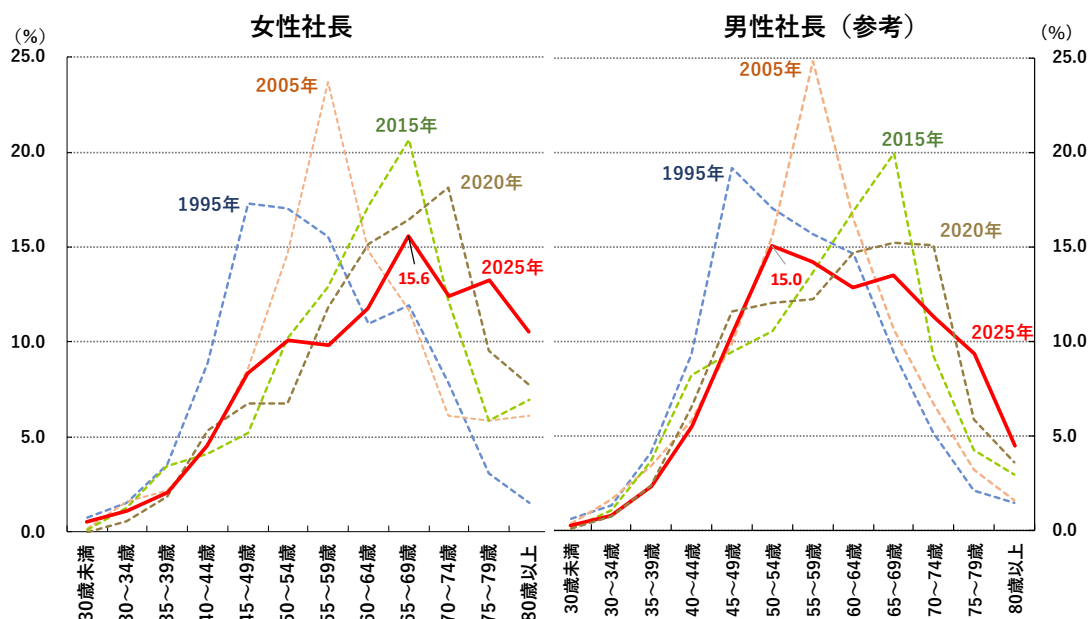
女性社長比率 業種細分類別(上位10業種)



女性社長は「65～69 歳」が 15.6%で最多

女性社長を年齢構成比でみると、「65～69 歳」が 15.6%で最も高かった。また、「70～74 歳」は 12.4%で前年(13.3%)から低下した一方で、「75～79 歳」は 13.3%で前年(13.0%)から上昇した。現在は 1947 年から 1950 年生まれの「団塊の世代」が 75 歳以上へ移行する期間であることが影響していると考えられる。「75 歳以上」でみると、23.8%となり、2020 年時点(17.3%)から 6.5pt 上昇し、毎年上昇傾向にある。なお、男性社長の割合が最も高いのは「50～54 歳」(15.0%)だった。

女性社長の年齢構成比 経年変化

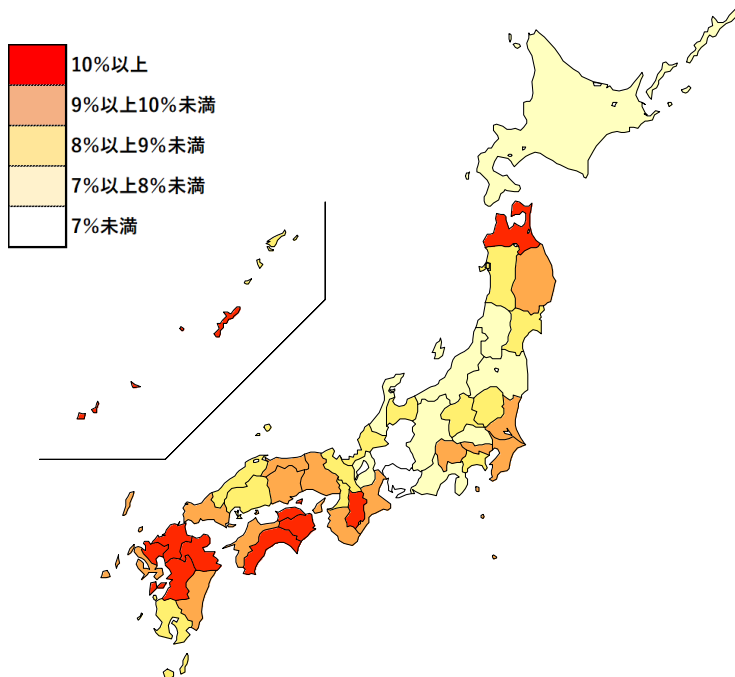


「徳島県」が 4 年連続のトップ、「大分県」は 10 位

都道府県別では「徳島県」が12.3%で最も高かった。前年から0.2pt上昇し4年連続のトップとなった。西日本エリアは全体的に高水準で、九州地方では「沖縄県」(11.8%)や「佐賀県」(11.1%)などが高かった。また、「青森県」は11.2%と全国3位となり、東北エリアのなかで唯一10%を超えた。「大分県」は前年から変わらず10位だった。

一方で、16年連続で最も低かった「岐阜県」(6.6%)や、「愛知県」(6.6%)を中心に、下位5県は製造業の割合が高い中部・北陸エリアが並んだ。

女性社長比率 都道府県別



順位	地域	女性社長率
1	徳島県	12.3%
2	沖縄県	11.8%
3	青森県	11.2%
4	佐賀県	11.1%
5	香川県	11.0%
⋮		
10	大分県	10.0%
⋮		
44	滋賀県	7.1%
	長野県	7.1%
45	新潟県	7.0%
47	愛知県	6.6%
	岐阜県	6.6%

まとめ

2025年の大分県の女性社長比率は10.0%だった。過去最高を更新して初めて1割に達した。

改正女性活躍推進法の施行を2026年4月に控えるなか、政府は2025年6月10日に、女性活躍と男女共同参画社会の実現に向けた道筋を示す「女性版骨太方針2025」を決定し、女性が地方でも活躍できる環境の整備を重点課題とした。企業や行政、学術、国際的な分野といった、あらゆる分野の意思決定層における女性の参画拡大を推進する。また、暴力防止や健康支援による安心社会の実現も含め、男女共同参画機構設立や災害対応への女性参画を進めて施策の加速化を図る。

なお、帝国データバンクが2025年8月に発表した「女性登用に対する企業の意識調査(2025年)」では、女性管理職の平均割合は前年から0.2pt上昇し、11.1%となり、過去最高となった。しかし、小幅の上昇にとどまっており、「役員が全員男性」の企業は依然として半数を超えている。

2024年10月1日に施行された「代表取締役等住所非表示措置」は、女性の役員登用の促進につながり、起業を後押しするきっかけとして期待される声があるなど、様々な制度の整備・拡充もあり、引き続き女性社長や役員・管理職の割合は緩やかな上昇が見込まれる。女性社長比率が1割を上回る状態になるためには、ライフイベントやキャリア、業種に合わせた女性起業家の育成・支援が求められている。